

アイエスケー株式会社

大阪府大阪市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

特殊ボルトづくりひと筋に 85 年。品質の向上と安定、技術開発に努め、多様な分野のニーズに応える総合パーツメーカーに成長

- 創業時から手掛ける高圧送電線鉄塔用ボルトに加え、時代のニーズに合わせ、幅広い用途に対応
- 最新鋭設備を導入し、製造ラインを自動化することで生産の合理化を追求
- 自動車部品における環境計測部品の供給、大手住宅メーカーへの住宅用ボルトの全量供給の実施

企業基本情報

所在地	大阪府大阪市西区土佐堀 1 丁目 4 番 11 号
電話 / FAX	06-6449-0852 / 06-6449-0850
URL	http://www.isk.co.jp/index.php
代表者	代表取締役社長 石川 和夫
設立	1933 年
資本金	4,800 万円
従業員数	192 人



会社概要

1933 年に高圧送電線鉄塔用亜鉛メッキボルト製造業者として設立。現在は鉄塔用の他、住宅用、自動車部品用、トンネル工事等の土木用等、幅広い分野に向けての特殊ボルト・ナット及び精密部品を製造。

自動車や住宅分野で大手メーカーとの共同開発に成功する他、複数の革新性の高い特許の保有や耐震・免震性の高い独自の柱脚工法技術を確立している。



中島工場

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

▶▶▶ 創業以来特殊ボルト・ナット製造開発に努め、多種多様な製品を提供

鉄塔用溶融亜鉛鍍金ボルト国内トップシェア企業で、プレハブ住宅用、自動車部品用、土木用等幅広い分野への製品を供給している。

あらゆる分野への展開を図ることが出来たのは、熱間鍛造、冷間圧造いずれの方法によっても安価で高品質な製品を製造できるノウハウを有し、技術力向上や技能継承を図っている点とステンレス等の材質も高精度な塑性加工ができる技術を開発した点にある。



鉄塔用亜鉛鍍金ボルト製品

▶▶▶ 最新鋭の機械設備を導入し、生産の合理化を追求

前橋工場は 2015 年に最新鋭の機械設備を導入。従来は手作業の多かった IS ベース（同社独自アンカーボルト）製造ラインの全自動化（ロボット導入）を図り、生産の合理化に努め、人員体制の維持を図りながら生産能力の大幅向上を図っている。また、鉄塔用ボルトをはじめとする全分野のトレーサビリティ実施と検査工程の自動化にも注力しており、不良率の改善や歩留まり率の向上が図れている。



IS ベース製造ライン

▶▶▶ 環境計測部品供給や住宅用ボルトの供給の実施

従来は対応できなかったステンレス素材への冷間圧造技術を確立し、自動車部品における環境計測部品の供給を開始。近年需要が高まっている排ガス規制への対応を図った結果、大手欧州自動車メーカーでは全車種同社製品が搭載されている等社会的ニーズへの対応も図っている。

住宅用ボルトにおいては大手住宅メーカーとの共同特許を多く保有しており、同社の住宅建築に必要なボルト全製品を同社が納入している。



住宅用ボルト製品